



平田 要

### いきいき百歳体操の 新型コロナウイルス 感染症防止対策

- 一、いきいき百歳体操の新型コロナウイルス感染症防止対策
- 二、都市近郊の自然豊かな能勢町へ新しい生活の発信
- 三、行政窓口等のキャッシュレス化

### 都市近郊の自然豊かな 能勢町へ、新しい 生活の発信

**問** 現在の開催状況は。  
**答** 44地区、49か所の内、39か所が活動、残り10か所が自粛されている。

**問** 行政からの感染症防止の支援について問う。  
**答** 感染防止策を示したチラシや消毒薬の配布など、必要な支援を行った。

**問** 開催中の不慮の事故について問う。  
**答** 実施主体が地元ということで、地元で対応いただく。

**問** 自粛から安心して再開できるよう支援を問う。  
**答** 話を聞き問題があるところを支援する。

**問** コロナ禍で新たな日常生活が動き出している。自然豊かな都市近郊の能勢町への移住発信のチャンスと考えるが。  
**答** 勤務場所を問わない働き方が、今後急増していくとも認識している。都市部から地方へのリビングシフトへの意識変化が活発化してきており、本町においても様々な暮らし方の形を模索していかなければならないと考えている。

### 行政窓口等の キャッシュレス化

**問** 行政窓口等のキャッシュレス化への検討について問う。



**問** 市民の利便性向上、非接触・非対面による新型コロナウイルス感染症防止拡大防止に資する取り組みとしてコンビニ設置端末による住民票等の交付を予定。国の動向や費用対効果を見極めながら、行政窓口や公共施設でのキャッシュレス化について今後進めていきたい。

## 一般質問



中西 顕治

### 新型コロナウイルス 感染症への対応

**問** 医療機関、福祉事業所へのコロナ対策支援の状況は。  
**答** 国の支援で、1医療機関当たり100万円、介護施設は1事業者当たり70万円の支援がある。

**問** 医療機関には発熱外来の設置や発熱者の搬送を医療機関自ら行う場合に、療料的な支援として移送車・エアシエルトの無償提供などの支援を予定している。介護事業所には、国の支援を超える費用の4分の1相当額を町で支援する。



**問** 町内で感染者が発生した場合の対処は。  
**答** 保健所との確認・調整はできている。PCR検査を町内の医療機関で実施した場合、関係の民間の検査機関が医療機関の検体を回収し、翌日には結果が出る。結果を保健所に報告し対象者への指示を受けるといった状況である。

**問** 平成16年に支所が廃止され保健所機能を持たない本町での公衆衛生の対応状況はどのように行われているのか。  
**答** コロナ感染症関連については、担当は池田保健所である。水質検査や水道の指導業務などが、茨木保健所に移っている。



**問** 平成16年の統合の際には人員を結集して保健所機能の強化を図る前提で池田保健所に統合されたが、今般のような事態では、対応が難しいと聞いている。  
**答** 保健所の在り方については、国において人材確保等に向けた検討がなされている。本町としては、その動向を注視する。